

新座市地域自立支援協議会(令和7年3月25日)資料

基幹相談支援センター活動報告

《研修・学習会開催》

- ・新座市相談支援従事者初任者研修 8/20.26 (演習)
途中コロナで欠席者が2名出ましたが、別日で補講を行い受講者12名全員が無事資格を取得することができました。

- ・今、改めて基幹相談支援センターについて知る～4年間の歩み～ 11/8
参加者14名
予定では「保健センターの役割」についての学習会でしたが、調整不足のため開催することができず、代替案として上記の学習会の開催となりました。これまでの委託相談(困難ケース)の内容や、基幹として特定相談へのバックアップの仕方、サービスに繋がるまで・・・等々、相談員との支え合い、頼り頼られる関係性の中、相談員同士(特定と基幹)がお互いをより知ることで、できる事も変わってくるということを伝えました。グループワークではさまざまな質問や意見がでましたが、基幹を受託している事業所の特定相談とそうじゃない特定相談との間で、知識や技術ではなく「相談、ディスカッション」という面での違いが見えました。

- ・相談支援専門員基礎研修 11/11 参加者9名
面接技法の技術、サービスの種類とモニタリング期間、先輩相談員との座談会を行いました。今回はサービスの種類の説明が駆け足過ぎてしまったため、今回は時間を増やし、より分かりやすい内容となりました。今年度の初任者研修受講者だけではなく昨年度の受講者の参加もあり、1年の経験を経た受講者からは、前回受講した時との違い(自分自身の)を聞き、継続の重要性を感じました。

- ・障がい者虐待防止について 1/10 参加者13名
今年度も、簡単な事例の概要をもとにグループワークを行いました。昨年度の研修で不足していた障がい者虐待防止法の概要の説明と、事例に対して当てはまる可能性がある虐待の種類の説明を加えました。虐待や権利擁護という視点の感度を上げる目的であり、来年度も継続して行います。

- ・意思決定支援 2/14 参加者21名
坂本会長に講師をお願いしました。相談員を目指し補助業務をしている方、初任

者からベテラン勢、ケアマネと兼務の相談員と幅広い参加がありました。職種によって捉え方が微妙に異なる意思決定支援かと思いますが、想像力を膨らませ、背景の仮定を何通りも立てて事例を通して意思決定支援を考える。受講生が皆、そのような体験ができたのではないかと思います。来年度も継続して行います。

《その他》

- 9/13 和光南特別支援学校「関係機関向け学校公開」
- 9/19 朝霞市特定相談支援事業所連絡会
- 9/24 埼玉県発達障害者支援センター「まほろば」地域巡回支援事業
- 11/5 新座市ひきこもり支援者担当者会議
- 11/22 令和6年度基幹相談支援センター機能強化研修
- 12/6～2/7 埼玉県スーパービジョン、管理・面接技術研修
- 12/18 令和6年度高齢者虐待防止ネットワーク研修会
- 1/23 東久留米市相談支援連絡会
- 1/28 新座市ひきこもり支援者担当者会議